

幸せな話題は、
ニュースになりにくい。
でも。



小さな
子どもを育てながら、
自由に働ける
~~わけがない。~~
社会へ。



外国人と働くことは、
言葉や文化が違うから
むずかしい。
視野が広がる。



人生100年時代？
それが本当に
幸せと言えるのか？
な時代へ。



障害者が幸せに
暮らせる社会の実現は、
容易ではない。
決して不可能

今日の新聞に、悲しいニュースは
いくつありましたか？
いまも様々な価値観が、
世界のあちこちで衝突しています。
多様な価値観ははたして、
争いの元でしかないのでしょうか？
本当は人間にとって、
そしてその営みにとって、
大切なヒントが隠れているのでは
ないでしょうか？



今の時代、
子どもをたくさん
持つことに、大きな
マイナスを感じる。
可能性



親世代から子世代へ。
貧困は連鎖するように
受け継がれていく。
てはいけない。

一人一人が違うからこそ、
互いの存在に想いを
巡らせることができる。
そして、そこから生み出される
優しい視点と行動から、
あたらしい幸せは
つくりだされるのだと、
私たちは信じています。

福祉の力で、
あたらしい幸せを。



地球環境問題は、
一人一人の想いでは
解決できない。こそ
へのエネルギーだ。



どの時代でも、
いじめが存在しない
社会なんてない。
は、つくれる。



AIを活用した介護で、
高齢者へのケアは
画一的になる。
きめ細か



認知症になったとき
支えてくれるのは、
家族だけだ。
と地域社会

集まればもっと強くなる

TEAM福祉力



日本福祉大学

通信教育部

